

市長と語ろう！高校生世代ミーティング【概要】

平成27年12月20日(日)

14時～15時30分

都立砂川高等学校

1 開会の挨拶

(市長)

こんにちは。きょうは私ども市役所の呼びかけに応じて、皆さんに集まっていただき大変ありがとうございます。私は昭和20年生まれです。終戦の年の8月8日に生まれましたから、終戦の1週間前に生まれたのです。8月に市長選挙がありましたが、その選挙の最中に70歳になりました。

立川を子どもや特に孫たちに誇れるまちにつくり上げていこうということで、今、市長職9年目に入りました。このまま行けば、あと3年半は立川の市長をやらせてもらえることとなります。やらせてもらえるように、一生懸命仕事に邁進していこうと思っていますところでございます。

市の運営というのは、第一には、長期総合計画という長いスパンの計画を立てます。第4次の計画が今年からスタートしました。

ここに計画の概要版があります。将来像として「にぎわいとやすらぎの交流都市 立川」とあります。これを目指していくということです。「にぎわいとやすらぎ」って何か矛盾するような言葉でしょう。これが、立川のまちをうまく表現していると思っています。「にぎわい」というのは、立川駅周辺です。JRだけの乗客だと1日16万人と言われているのですが、バスで来る、モノレールで来る、西武線で来るとか、いろいろな交通手段で立川に集まってきてくれる人が今、1日平均約50万人です。まさに「にぎわい」です。

しかしながら、ここ砂川高校の周辺を歩いてみると、農地がたくさんあるでしょう。市内には農地が約290ヘクタールあります。多摩26市の中でも3番目に農地がたくさんある都市なのです。例えば立川の市の木はケヤキです。このケヤキの出荷額は全国ナンバーワンです。日本全国へケヤキを出荷しています。多摩ナンバーワンのにぎわう立川駅周辺と、そしてそのにぎわいからは想像もできないような緑豊かな農地や住宅地が広がっている。これを表現したかったのです。

立川市の人口はおよそ18万人ですから、今は多摩26市では多いほうから9番目です。立川には、大きな産業がありません。大きな工場もありません。他の都市は東証一部上場の日本を代表するような企業の本社がありますが、立川はほとんどないのです。中小企業が寄り集まって、商業や工業を形づくっているまちが立川です。

国の社会保障人口問題研究所の推計によると、40年先の立川市の人口は5万人くらい減っていくだろう。13万人くらいになっていくだろうと言われています。何とかそれを食い止めて、立川に来てくれる人をもっともっと増やしていきたい。人口減少が若干あっても、それをカバーするだけのまちのにぎわいをつくっていけば、何とか住みよい立川のまちを維持できるのではないかと思っています。

そのため、いろいろな仕掛けをやってまいりました。今月はららぽーと立川立飛が開店しました。去年はIKEA立川が開店しました。IKEAが来て、ららぽーとが来て、来

年の夏ごろには立川駅北口の第一デパートがあったところに32階建て、高さ130メートルのビルが建ちます。そこにヤマダ電機が入ります。

今年の夏、ヤギがいましたね。あの地区には立川市の地区計画で、住宅を建ててはいけないということにしてあります。多摩でオンリーワンと言えるくらいのエンターテインメント系の施設でなければだめですと決めてしまったのです。ですからヤギのいた空き地には、大体3年後ぐらいには、多摩地区にはないような施設ができると思っています。ぜひ皆さんも注目しておいていただきたいなと思います。

これからも立川が、安全で安心して住み続けることができるように、皆さんのご協力をいただきながら、頑張っまいるたいと思っています。

今朝、妻に言われました。「お父さん、きょうは何か特別いいことがあるの。」と。何となく、いつもと違ってほころんでいるような顔をしているよと言われてくらい、本当に今日は楽しみにしています。先月は大学生世代と初めてタウンミーティングをやりました。今日は高校生世代の皆さんです。ひとつ、「市長偉そうなこと言っているから、一発くらわしてやろうか。」ぐらいの気概を持って、いろいろお話しをしてもらえばありがたいなと思っています。限られた時間ですが、どうぞ皆さん、よろしく願いいたします。

2 意見交換

(進行)

皆さん、先ほど記入したアイデア記入シートに基づいて、1人1回は何かしら発言してほしいなと思っています。

(参加者)

こんにちは。「人を集められる建物を！」というタイトルです。先ほどおっしゃられましたエンターテインメントがある建物を建ててほしいなということです。具体的な例で言うと、ライブハウスや競技場を、駅の近くにつくってほしい。それを生かして、ららぽーとやIKEAみたいなショッピングモールや、昭和記念公園、家電量販店に、イベント前後に人を集めて、そちらのほうもにぎやかにしていただく。そしてイベントを楽しんでいただいた後、もう一度ショッピングなどもしていただいて、帰宅していただくというのをすると楽しい。今実際にある例だと、東京ドームとその周りの商業施設があるじゃないですか。家族連れでも楽しめますし、ひとりでも楽しめます。今あるららぽーと、IKEAなどが、イベント前後に行ける場所、休める場所と考えたときに、何かイベントがあれば、よりにぎわうし、楽しめるのではないかなと思って、この意見を述べさせていただきました。

(市長)

立川は多摩地区で一番ホテルの部屋数が多い都市です。1,600程の部屋があります。部屋数が1,600では将来にちょっと不安があるなということで、もしかしたら、超一流と言われるくらいのホテルが来る可能性も大いにあります。専門誌の中でうわさをされているのですが、そういう可能性があって、とても楽しみにしています。

立川駅の西側に、新しい自由通路を今つくっています。この自由通路に直径30メートルぐらい、面積1,000平方メートルぐらいの広場をつくります。その広場の上には屋根をつ

けます。木製の楽器を持ってきても、雨のことを心配しないでパフォーマンスができる、そしてここで路上ライブもできるようなしつらえにしていきたいと思います。立川の将来のさらなるにぎわいのための準備を、今始めているところです。

(進行)

ここからは高校生の生徒さん、2人分、3人分ぐらい、まず言っていただいて、それにまとめて答えていただくような形で進めていこうかなと思います。

(参加者)

「より親しみやすいまちへ」ということです。大型の商業施設、ららぽーと、IKEAができて、そういう都会的な一面もありながら、昭和記念公園みたいな自然もあるのでとても魅力的なまちだと思います。そこで、「より親しみやすいまちへ」の「より」の部分ですが、特に南口です。南口、いいところがいっぱいあります。居酒屋があるし、あとは体育館もあるし、ライブハウスもスタジオもあります。自分も音楽をやっているんで、ライブハウスだったり、あとスタジオに行ったりしますが、時間帯が夜だと、やっぱり近寄りたいたい雰囲気があるのは否めないんです。客引きだとか。だから、そういうことを改善してもらおうと、より親しみやすいまちになると思います。

(参加者)

一言で言うと「モノレールの料金が高い」と思います。せっかく立飛駅にららぽーと、そしてIKEAができて、人が来ているというのに、料金が高い。学生には高いのであまり気軽には行けないと思います。確かにお金に余裕のある大人の方たちは来られると思うのですが、学生はやはりお小遣い制なので、あまりお金を使いたくないという志向がありますので、市長のお力を貸してもらって、値段を少し安くしてほしいなと思います。

(参加者)

「誰もがすみやすい、行きやすい立川」ということです。まず行きやすい立川というところですが、立川駅は中央線、南武線、青梅線、モノレールと交通の便がよくて、駅自体の利便性は都内でも良い方だと思うのです。しかしそこから、例えばIKEAや、先日オープンしたららぽーとはやっぱり不便です。先ほど意見も上がりましたが、例えばモノレールが高いとか、それから道路もです。たしか、ららぽーとまでほとんど一本道だと思います。これから年末年始やクリスマスとかを控えていて、渋滞も深刻な問題になり得ると思います。これは私たちの班で話し合った1つの意見なんですけれども、市のバスの「くるりんバス」が本数が少ないんじゃないかという意見が出ました。

モノレールもすごく混雑していて、道路も抜け道は多分ないと思うので、渋滞するとすごく深刻です。だから、例えば立川駅からららぽーとに行けるバスとか、立川駅に限らず、例えばこの辺でしたら八王子とか、新宿とか、いろいろなところから、ららぽーとまで行けるバスを活用したほうが良いと思いました。

次に、「誰もがすみやすい」というところに着目するんですけど、先ほど立川市の人口が減少していくのではないかというお話がありました。そこで、どういった原因で人口が減少しているのかなと、私なりに考えました。まず感じたことが、やはりバスが少ない

ということと、それから、駅周辺は栄えているんですけども、住宅地、アパートとかが少ないかなと思います。駅周辺も値段とか、住みづらい条件があると思うので、宅地開発もどんどん進めていってほしいなと思っています。

駅前のスーパーが少ないのではないかという意見が出ました。立川駅は、例えばグランデュオであったり、ルミネや、大きいデパートとかがありますが、例えばいなげやさんとか、そういう気軽に足を運べるようなスーパーが少ないと思います。特に地元の人にとってみたら、不便だと思います。それから立川市に住むとなったら、自転車で立川駅に行くという人も多いと思うのですが、駐輪場が余りにも少ないのかなと感じます。

先ほど人口減少で高齢化が進むんじゃないかという話が出ました。確かに人口減少で、若い世代がどんどん都市部に行ってしまうと、高齢者問題も出てくると思うんですけども、私がよく感じるのは、立川駅の南口でしたら、立川駅に向かうエスカレーターであったり、エレベーターであったり、その数が少ないなと感じています。もう少しバリアフリー化みたいなものに力を入れないと、お年寄りの方は行きづらいです。にぎやかなまちではありますが、誰もが行きやすい、住みやすいまちにしてほしいなと思いました。

(市長)

先ず南口の防犯の話です。本当に頭の痛いことで、実は1週間ほど前、私も立川駅前の夜間の防犯パトロールをやりました。午後8時から9時45分まで、南口と北口を歩きました。立川市には、つきまとい等を防止する条例があります。今までも、風俗店などの客引きはだめですよという条例をつくっていました。ところが、今は女性が行く美容院の客引きだとか、それからカラオケ店の客引きだとか、ちょっとした飲食店の客引きだとか、つきまとい、店まで連れていってしまう。あるいはカラオケ店の入り口を入ったところで、「お客さん、今は中いっぱいです。うちの系列店はこっちにありますから、こっちに来てください。」と連れて行ってしまうというひどい状態になったものですから、全ての業種において、迷惑を感じるような行為をした者については、最終的には過料を科すという条例をつくりました。その条例を施行したのが今月7日です。客引きが劇的に減りました。私自身も感じましたし、そういうふうな状況になってきました。

全ての業種に、通行人に迷惑をかけるような客引き行為をやったらだめですよという条例をつくったのは、多摩地区では、立川が3番目です。もう1か月ほど、様子見をしてみてください。もう既に効果があらわれているようですから、きつとうまくいくものと思います。

先月の大学生世代対象のときにも、モノレールの料金が高過ぎるという話を伺いました。私もモノレール株式会社の非常勤取締役ですから、取締役会の中で、学割をつくれないうことと要望を出してまいります。1駅だけ乗れば、ワンコイン100円で済みますから、ららぽーとまであと五、六百メートル歩いてもらえれば100円で行けますので、ぜひよろしくお願いたします。

それと、渋滞対策の件です。おかげさまで、ららぽーとの開店による渋滞はほとんど起きていません。例えば、二、三キロ離れたところに駐車場を用意して、そこからバスで、無料で送迎しています。あるいはモノレールに乗って来てくれたら500円の商品券をプレゼントしていました。そんなことをやってくれたおかげで、今のところららぽーとの渋滞はほとんどないです。

実は今日も、車で走ってきたのですが、師走の20日、21日ごろのお昼に、立川駅の北口周辺で渋滞がほとんどないなんていうのは今までなかったのです。ららぽーとがなくても渋滞はありました。それが逆に、渋滞がないので、逆の心配を今私はしています。お客がみんな逃げちゃったかな、ららぽーと以外のお客は立川を避けてしまっているのかなと心配が少しあります。

それから住宅対策につきましては、これは実は、旧砂川地区などのアパートはかなり空き部屋があります。戸建ての建売住宅は、建てれば売れるというふうな状況ですけれども、逆にアパートは入る人がいない。私の住まいは西砂町、横田基地に近いほうですけれども、JRで最寄りの駅が昭島駅。それと西武立川駅ですけれども、周りのアパートはかなり空室があります。そんな状況ですから、見た目と現実とはちょっと違うのかなという感じになっています。

次に北口のスーパーです。確かに駅前、北口はほとんどないのですが、以前ダイエーだったビルにドン・キホーテが入ります。ツーフロアぐらいを使ってスーパーが入るというお話を聞いています。

駐輪場の件です。駐輪場も悩みの種でして、一等地でないのとめてくれないです。例えば駅の南北の直近だと、地代が1坪、畳2枚分で1,000万円とか、そのぐらいの値段です。畳2枚分だと、自転車をうまく詰めても3台ぐらいしかとまらない。1,000万円の土地を買って、整備費を入れると倍近くなってしまいます。そこへ1日100円の自転車を入れるための設備をつくるのはちょっと厳しいので、少し駅から離れたところへ駐輪場の整備はしていきます。現実、放置自転車と駐輪場の利用数を合わせると、駐輪場の数のほうが今、ちょっと上回っています。駅から少し遠いと、放置自転車のような形でとめてしまう人が多い。これをどう説得をして、用意した駐輪場にとめてもらえるかどうか、知恵の見せどころだなと思っています。

人口減と高齢化についてです。私どもとしては、70歳になってもぴんぴんして、病気しないような、そういう活動ができるようになるための施策、ラジオ体操を普及させるとか、それが高齢者についての健康対策の一番になると思っています。

エスカレーターの件です。高島屋横のサンサンロードヘデッキからおりところはまだエスカレーターがないです。自力で階段を上った場合と、エスカレーターで人を運んだ場合で、どのぐらいの効果があるかという、エスカレーターには歩きで上る数の50倍から100倍の能力があるそうです。同じ時間だったら、歩いて上る人の100倍くらい人を運べるということですから、あそこにエスカレーターをつけていきたいなと考えています。

(参加者)

私のつけたアイデアが、「立川に住む人が増える施設作り」ということです。立川市の人口の減少が将来的に起こるという話がありましたが、特に20代、30代が減少しているということで、立川市に住む若者が利用できる施設を増やしたほうが良いのではないかなと思いました。私は武蔵境に住んでいますが、武蔵野プレイスのような施設が立川にあってもいいかなと思います。外から来る人が利用するための施設は増えていると思うのですけれども、そうではなくて、立川市に生活する人たちが、これからも生活していきたいと思うような、施設が増えていくと、さらににぎわいのまちになるのではないのでしょうか。

(参加者)

私の一言は、「どの世代の人にも住みやすく」です。私は、特に小さい子どもが住みにくい環境なのかなと思いました。まず駅周辺からちょっと離れた場所でも、子どもがサッカーなどができる広さの公園は少ないのかなと思います。僕は稲城市に住んでいますが、家の近くにも公園はいっぱいありますし、小学校もあります。本当にいろいろ遊べる場所があって、どこへ行っても子どもが遊んでいるという感じです。それが立川は少ないのかなと思いました。

あとは治安のことです。先ほどの声かけのこともありました。ほかにもゲームセンターのあたりとかへ行ってしまうと、ちょっと怖いお兄さんたちが声かけてきたりすることもあります。そこら辺は、子どもにとって危ない場所だと思います。家族で住みたいかと言われると、僕だったら、立川はちょっとなってしまう部分がありますので、夜ですとか、地域でのパトロールとかがあると、安心して生活できる環境になるのではないかと思います。

(参加者)

一言であらわすと、「バランス良く発展するまちづくりを」ということです。立川は、IKEAやららぽーとがあって、楽しいところがあると思いますが、駅周辺とそれ以外のちょっと離れた場所との発展の差が気になると思います。駅周辺だけいろいろ発展して、そのほかのところは全然手がついていないというのは、どうにかならないものなのかなと思います。

また、くるりんバスが1時間に1本など、本数の少なさがすごく気になるので、運賃は良いのですが、ちょっと使い勝手が悪いとも思います。

あとはモノレール駅に駐輪場を設置してほしいと思っています。モノレール駅の横に、自転車がとめられていると思いますが、きれいに整理されていないところがあるので、見た目も汚いし、良くないなと思っています。

(市長)

大学生世代までは立川に住み、八王子や、モノレール沿線の大学に通う。しかし卒業、就職をして、どこへ住みたいかとなったら、立川から少し東のほうへ行ってしまう、お勤め先も同じほうへ就職してしまう。これをどう克服していくか、しっかりと分析をして、対策をとっていきたいと思っています。

子育てをしにくいまちになりつつあるのではないかというお話がお2人から出ました。駅の周辺は、そのようなことが当然あるだろうと思っています。立川のまちは、外から来る人たちを対象とする交流人口によって成り立っていると言っても過言ではないのです。一番わかりやすいのは法人税です。法人税は、企業が企業活動によってもうけを出せば出すほど、納めてくれる税金です。個人ではなく法人です。市民1人当たりになると、立川は多摩地域ナンバーワンです。2番手に来るのが調布市や武蔵野市です。武蔵野市のほうが上かもしれないと思う人もいるでしょう。それだけ立川が、いわゆる商業や工業などによって成り立っているまちだと言えるのです。

ですから立川駅の周辺に、比較的静かな、落ち着いたたたずまいを求めるとするのは、市の経営の立場からも、やるべきではないと思っています。立川駅を中心とした1キロか

ら2キロ範囲内のエリアは、立川に来ていただく人たちが、そこで遊び、食べ、消費をしてもらえるまちづくりをしていかないと、立川市の今後は成り立っていかない。これはもう何を言っても法人税がカバーしてくれているということです。今後も立川駅周辺の交通の結節点という強みを生かして、立川まちのにぎわいをつくっていくことが、市長に与えられた大きな役目だと思っています。

公園やボール遊びのできる場所が欲しいというお話がありました。今、立川市の公園で、ボール遊びのできる公園は1つありません。それだけの広さが無いという以外にも、「子どもの声がうるさい、ボールが飛んできてけがをしたらどうする。バットを使うのなんていうのはとんでもない話だ。」と猛反対の意見があります。何度試みても、理解をいただけないため、ボール遊びのできる公園は1つもないという現状です。今後も地道に説得しないといけないとは思いますが、広さが足りないため、ボール遊びのできる公園をつくらうとしたら、ドームのような、鳥かごのようなもので公園全体を覆わなければならぬだろうと思っています。少し寂しい話ですが、現実はそのようなことなのです。

くるりんバスは、1時間に1本では少な過ぎるというお話がありました。くるりんバスは4ルートで運航しており年間6,000万円近いお金がかかっています。そもそもくるりんバスは、何のために始めたかという、お年寄りが病院や駅のほうへ行けるようにするためであって、元気な方、お仕事をされている、自転車に乗れる人、そういう人を対象にはしていないです。ぜひご理解をいただきたいと思っています。

モノレールの駐輪場の件ですけれども、もしかしたら砂川七番駅の近所ですか。やはりそうですか。もう何年も前から、駐輪場をつくる場所を貸してくれないか、もしくは売ってくれないかということで探しています。駐輪場をつくる気持ちは十二分に持っておりますので、土地さえ見つければすぐにでも着工したいと考えています。ご理解をお願いします。

(進行)

残り時間の関係で、申しわけないのですが、皆さんには順番にマイクを回します。せっかくなので参加者全員から一言もらいたいと思います。

(参加者)

立川駅にはどの場所からでも行きやすいのですが、駅からさまざまな場所に行くのが面倒という意見です。

(参加者)

「南北の格差を減らす」という話です。立川駅の北口と南口でかなり差があるうえ、また立川市内でも、北側と南側でかなり経済規模的な差があると思います。

(参加者)

「立川の北側や開発していないところにも活気を！」と書きました。立川の北側は、玉川上水や、畑とか川とかがあって良いと思うのですが、何かちょっと寂しいなという感じがするので、少し工夫してもらえたらと思います。

(参加者)

私は「駅前がキレイ！」と書きました。駅前だけじゃなくて、砂川高校の周りもきれいだと思うので、これからもきれいな立川市であつたらいいなと思います。

(参加者)

映画館やI K E Aに行こうという目的で来る人が多いと思います。それをきっかけに、また立川に来ようと思ってもらえるようなまちになっていけばいいなと思います。

(参加者)

通学定期券は、西武バスだと何回も乗り放題なのですが、立川バスだと全く使えないので、使えるようにしていただけるとうれしいです。

(参加者)

立川では、箱根駅伝の予選会や、立川シティハーフマラソンがあるのですが、実際、市民の人たちがスポーツをする施設、場所というのがないように感じられます。是非つくってほしいです。

(参加者)

僕は「遊べる場所、遊べる機会を」と書きました。「遊べる場所」は、公園ということでさっき答えていただいたので省きます。「遊べる機会を」ということで、立川は、夏には花火、冬にはイルミネーションといったイベントがありますが、春秋とかが、ちょっと寂しい。お花見や紅葉をライトアップするなど、外から来る人のためにもっと盛り上げてほしいというのと、市内の人たち向けのお祭りなどがいいのではと思いました。こじんまりしてしまっているイメージがあります。

(参加者)

私が書いたのは「気軽に楽しく！！」です。今、立川にはいろいろな施設ができて、すごくにぎやかになっていると思うので、もっと気軽にみんなが来れるようになったらと思います。

(参加者)

北口、南口を問わず、もう少し道路の整備をしてほしいと思いました。

(参加者)

「かたよっている」という題名にしました。北口と南口で差があるのではないかなと思ったので、そういう題名にしました。

(参加者)

自分は「サイクリングロード」と書きました。昭和記念公園のサイクリングロードと、多摩湖のサイクリングロードをつないで、北多摩の自転車道網をもっと充実させてほしいと思いました。

(参加者)

僕は「子ども達が楽しく生活できるまち」という題名で書きました。小さい子どもたちがボール遊びができるような公園がもっとたくさん増えていくといいなと思っています。

(参加者)

私は「人に優しく、交通にやさしく」という題で書きました。子どもや老人が住みやすく、より交通を便利にしていけば、良いまちになるのではないかと思います。

(市長)

道路や交通に関する質問が幾つかありましたので、今後大きな課題として、立川の道路がどうなっていくかというお話を先にさせていただきます。芋窪街道は泉体育館のところまでは片側2車線になっています。それから南は片側1車線です。この道路を都市計画道路と言いまして、東京都が中心になって整備してくれる道路なのですが、これを南へずっと延ばして、陸上自衛隊東立川駐屯地のところを通って、中央線、南武線を越えて、甲州街道まで片側2車線の道路となるように、来年の東京都の予算の中には設計費等を計上してもらえらるうと思っています。

それからもう一つ、中央南北線という道路があります。市役所の隣の幅員70メートルの道路です。この道路を、青梅線の踏切を渡って、八王子の中央道石川パーキングエリアまで延ばして、スマートインターをつくらせていただきたいということで、舛添知事ともお話をしております。

南北の格差です。これは先ほども言いましたが、その場所、その場所によって個性が違います。私の住んでいる西砂町のようなところへ、毎日、人が何千人も来るような施設をつくれといわれても、これは無理な話です。

それともう一つ、畑が存在するというのは、1つには、相続税制や、生産緑地制度など、いろいろな法律の縛りがあります。簡単に農地を転用して宅地にするということができないのです。皆さん、時々「今まで畑だったのに、急に建売住宅がたくさんできたな。」ということがあられるでしょう。あれは所有者が亡くなった際、相続をする人たちが、今度は畑でなくても、宅地にしてもいいですよという制度があります。そういう選択をすることによって、畑を継続しないで大規模な宅地ができているのが現状です。これはもう市のレベルでは、いかんともしがたいということになっております。

駅前もきれいになってきました、砂川高校の周辺もきれいですというお話でした。ありがとうございます。それから、立川にまた来たいと思うようなまちづくりを進めてもらいたい。まさに、そのとおりの目的を持って、一生懸命やっています。先ほどの路上ライブなどというのは、完成すれば、大評判になると思います。多摩地区の中で、路上ライブを日常的にできるような場所を、きちんと市が提供できるということはまだないはず。立川が一番先になると思います。しかも、屋根をかけるわけですから、木製のギターだって何だって使えます。来年の夏を楽しみにしててください。ぜひ皆さんのお仲間に、やってもらえればありがたいなと思います。

定期券です。立川バスと西武バスのコラボができないかということですね。これはぜひ、こういうお話がありましたよということでお伝えしてまいりたいと思います。

市民のスポーツができる場所が少ないということです。簡単にはできないのですが、1つ自慢できることは、人口18万人のまちで、温水プール付きの体育館を2つも持っているというのは、立川しかないです。それからプロのバスケットボールの試合を、年間4試合、5試合、やり始めています。なぜかという、立川が便利だからだそうです。しかも駅前に体育館があるわけです。これをぜひご利用していただければありがたいなと思っています。また、陸上競技場も、国際大会ができるように改修するための設計をやっていきます。オリンピック前の2019年の再オープンを目指してスタートしています。

遊べる場所についてです。いろいろなイベントをもっともっと実施したらいいと思います。例えば南口にある、春の時期の根川公園の桜は、もうほんとにすごいです。今、商工会議所は、国立駅の南口の大学通りから立川の根川まで歩く、さくらウォークというのをやっていますが、1日だけしかやっていないです。秋も「まんぱく」など、1日5万人と行った人が集まるようなイベントがありますが、もっともっとイベントをしっかりと行っていきたくと思っています。

気軽に楽しく、安く遊べる場所です。これはもう、そういう仕掛けというのは、行政がやるよりも民間にやっていただいたほうが、はるかに能力はあります。多少のお金がかかるのは、これはやむを得ないのかなと思います。

サイクリングロードです。多摩川の西側の土手には羽村市から大田区まで50キロあるサイクリングもできる道路があります。その50キロの間には、自転車からおりて一休みしたいなというところがほとんどないです。ですから富士見町の廃校となった多摩川小学校の跡地に、サイクリストたちのためのサイクル・ステーションをつくりました。そこはシャワーもあります。またパンクを直したり、部品を供給したり、そういう道具類もそろえてあります。それからカフェもあります。ぜひサイクリングをする人、一度顔を出してください。結構楽しいと思いますよ。

子どもが楽しく生活できるとは、まさにそのとおりです。子どもが安全に楽しく生活ができるまちづくりをするというのは、今を生きる我々の責任です。病気になったらすぐ病院にもかかることができる、またまちの中でも安全に遊ぶことができるという仕掛けをやっていきたいと思っています。今、市内に20ある全ての小学校で、「放課後子ども教室」というのをやっています。学校が終わっても、両親が働きに行っていて家が留守ですという様な子どもたちには、ぜひ学校に残って遊んでもらう。シルバー人材センターなどの大人たちが、ボランティアで指導員をやってきています。そこでいろいろな遊びや、学びなどをやってもらえる、まさに安全な場所です。

最後の方が、人に優しく、子どもや老人に優しく、交通にも便利なようにということでした。今私が申し上げた中で、全てこれで表現できていると思っております。

3 閉会の挨拶

(市長)

このタウンミーティング開催にご協力いただきました、都立砂川高等学校をはじめ関係者の皆さまに心から御礼申し上げます。

今日ご参加いただいた皆様にはこれからもご提案、ご提言を頂きたいと思っております。このすぐ隣の泉市民体育館には市長への手紙というはがきが用意されています。是非思いの丈を書いてポストに投函してください。必ず私が確認してお返事を書いています。

本日は本当にありがとうございました。